



### 「ふれあい木工クラフト」

〜にっこり笑顔の木工作〜

令和3年4月29日(木)〜5月5日(水)の7日間、釧路市こども遊学館(釧路市幸町)で、ゴールデンウィークイベント「木木ひろば」が開催されました。

期間中、「こいのぼりを作っておぼろー!」等の様々な催しが行われ、当センターからは、イベント中盤の5月1日(土)・5月2日(日)の2日間「ふれあい木工クラフト」を開催しました。

当センターは、こども遊学館のスタッフとボランティアの皆様にお手伝いいただき、マツボックリや木の枝・輪切りの木等の森林の恵みで木



▽木工クラフト作りの様子

工クラフト作りを行いました。

当日は、小さなお子さんと大人の方も熱中して木工クラフトを楽しんでおり、見本に忠実な作品や個性的な作品等を作っている姿が見られました。参加者の方からは「楽しい!」や「かわいい!」等の嬉しい声が飛び交っていました。新型コロナウイルス感染症予防のため、机の数も少なかったのですが、2日間で139名もの参加があり、親子や友達同士で木工クラフト作りに熱中する様子が見られる等、用意した席がなかなか空かないほどの大盛況となりました。



▽完成した作品

### 「春の学校林活動」(中茶安別小中学校)

〜おおきなあれ!〜

令和3年5月24日(月)、中茶安別小中学校林の、るるんフォレストで、春の学校林活動が開催されました。

昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症対策のため、全員マスクを着用し、活動を実施しました。

まず始めに標茶町森林組合が「植樹」、当センターが植栽木を野生生物(エゾシカ・ユキウサギ等)の食害から保護するため「保護管(ツリシエルトー)の被覆」について説明した後、3班に分かれて植樹、保護管の被覆を行いました。



▽植樹の様子



▽保護管を被覆する様子

児童・生徒は各々にスコップと苗木を持ち「ミズナラ」「エゾヤマザクラ」「カラマツ」の3種・合計100本を慣れた手つきで植栽している頼もしい姿を見ることができました。また、保護管の被覆については、上級生が下級生に被覆方法等を上手に教えて、綺麗に保護管の被覆まで終わらせることが出来ました。当日は、マスクをしていることもあり、少し息苦しい中での活動になりましたが、元氣いっぱいの子供達の活躍により無事に活動を終わることが出来ました。今回の活動で植樹した苗木が立派に成長し、中茶安別小中学校の伝統がこれからも続いていくことを願っています。



▽植樹の様子

**根釧西部森林管理署若手職員による広葉樹の植樹（職場内OJT）**  
令和3年6月23日（水）・28日（月）に、釧路湿原上流域に位置する雷別地区自然再生事業地（標茶町雷別）で、根釧西部森林管理署若手職員による広葉樹の植樹を行いました。この取り組みは、6月に当センターで計画していた植樹イベントが新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となったことから、この代替として、根釧西部森林管理署と連携し、若手職員対象のOJTとして実施したものです。23日は10名、28日は6名の参加があり、2日間で広葉樹の



▽保護管設置の様子

苗木160本（ミズナラ、ハルニレ、ヤチダモ、カツラ各40本）の植樹とともに、植栽木を野生生物の食害から守るための保護管（ツリーシールド）を設置してもらいました。両日とも、気持ちの良い青空が広がる絶好の植樹日和となり、若手職員達は、当センター職員の指導のもと、植樹や保護管の設置に熱心に取り組み、心地良い汗を流していました。植樹の経験が無い職員もおり、鋏を使つての植樹は大変だったようですが、「勉強になり良い経験をさせてもらいました。」「意外に大変で疲れました。」等の声があり、作業終了後は、皆、充実した表情を見せていました。



国民の森林・国有林

**林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター**

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11号

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【FAX】0154-41-7305

【E-mail】h\_kushiro\_f@maff.go.jp

【URL】[http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kushiro\\_fc/index.html](http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kushiro_fc/index.html)



当センターは、根釧西部森林管理署が管理経営する国有林を主な活動区域として、フィールドの特徴を踏まえて、教育関係者、ボランティア団体・地域住民、企業、行政機関等の活動支援や技術指導を行っています。